

県民アンケートの結果概要

1 調査の目的

「宮崎県環境計画」の改定にあたり、県民の環境に関する考えの変化を把握し、計画に反映することを目的に実施。

2 調査対象及び方法、時期

調査方法	調査時期
県庁ホームページ「宮崎県電子申請システム」にてアンケート公開	令和 7 年 4 月 13 日～ 5 月 31 日

3 回収結果

区分	回答数
県民向けアンケート	1429

4 回答者の属性

性別は、男性 59.3%、女性 38.8%と男性が多くを占めた。

年齢別は、50 歳代が 31.4%と最も多くを占め、次いで 40 歳代が 21.1%、60 歳以上が 13.9%であった。

居住地は、県央 74.5%、県北 10.6%、県南・県西 14.8%であった。

回答者の性別

項目	件数	割合
男性	847	59.3%
女性	555	38.8%
不明（無回答含む。）	27	1.9%
計	1429	100%

回答者の年齢

項目	件数	割合
20歳未満	6	0.4%
20～29歳	197	13.8%
30～39歳	277	19.4%
40～49歳	302	21.1%
50～59歳	448	31.4%
60歳以上	199	13.9%
計	1429	100%

回答者の居住地

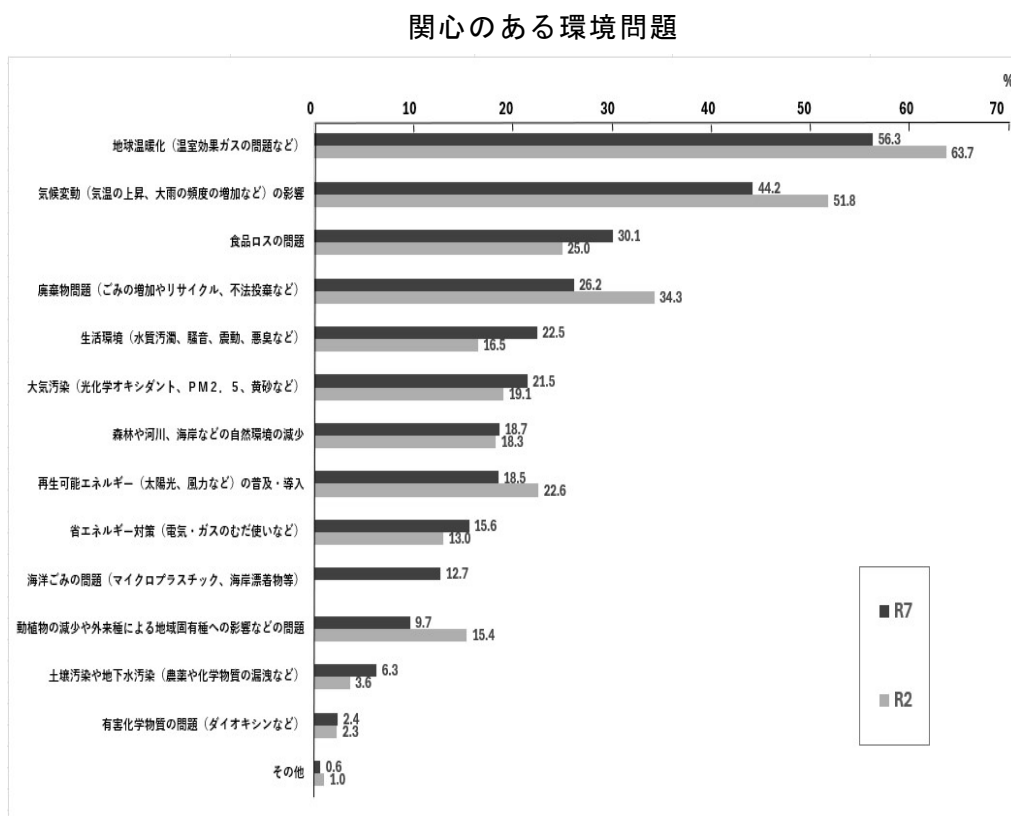
項目	件数	割合
県央	1065	74.5%
県北	152	10.6%
県南・県西	212	14.8%
計	1429	100%

5 主な回答

環境問題への関心について（問 6）

関心のある環境問題は、「地球温暖化」が 56.3%と最も高く、次いで「気候変動」、「食品ロスの問題」、「廃棄物問題」、「生活環境」の順であった。

前回（R2）と比較すると、順位に大きな変化はないが、「食品ロスの問題」や「生活環境」、「大気汚染」への関心が高まっている。

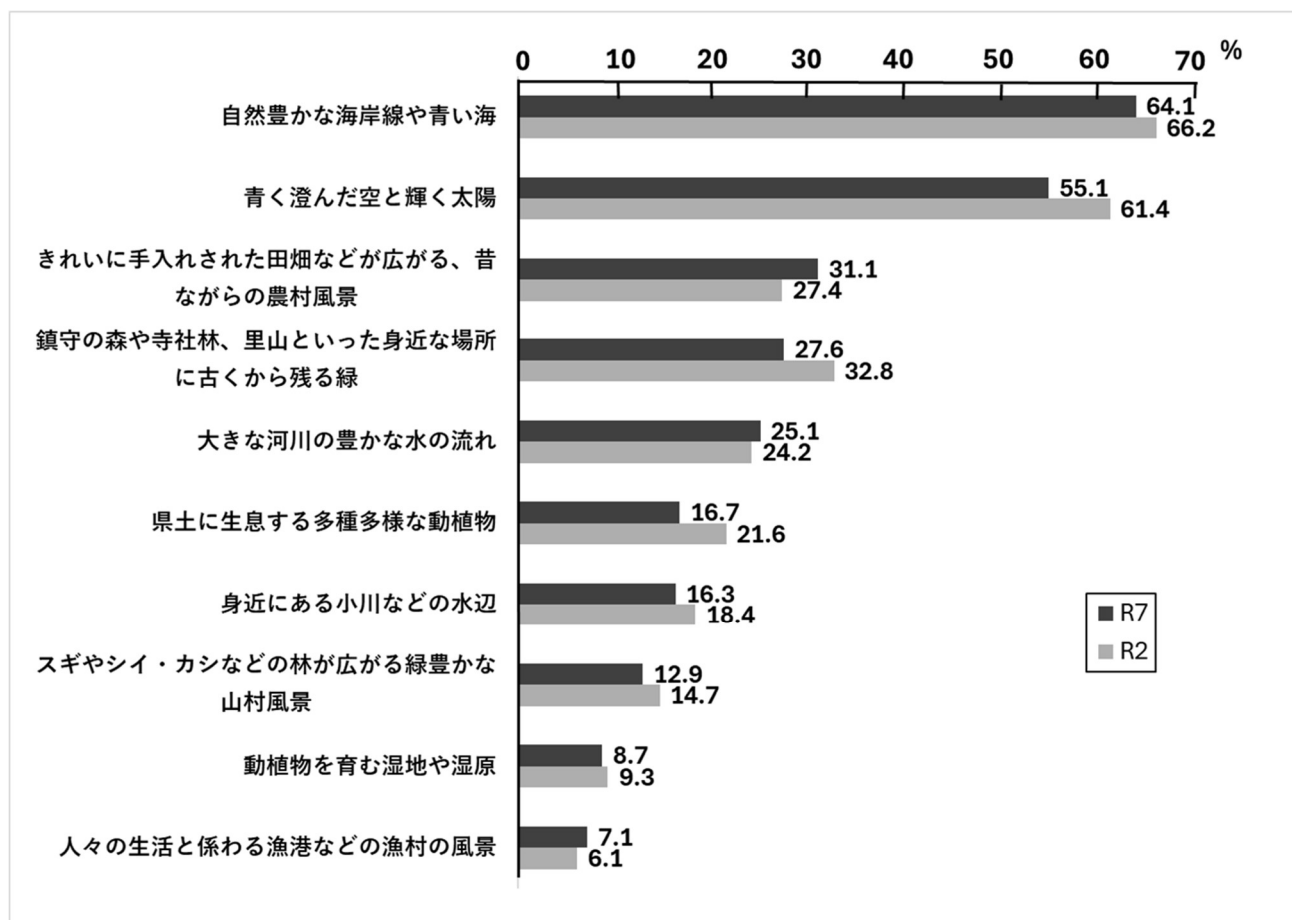


将来に残していきたい宮崎県環境について（問 9）

将来に残したい宮崎県環境は、「自然豊かな海岸線や青い海」が 64.1%と最も高く、次いで「青く澄んだ空と輝く太陽」、「きれいに手入れされた田畑などが広がる、昔ながらの農村風景」であった。

前回調査（R2）と比較して、順位に大きな変化は見られなかった。

将来に残していきたい宮崎県環境

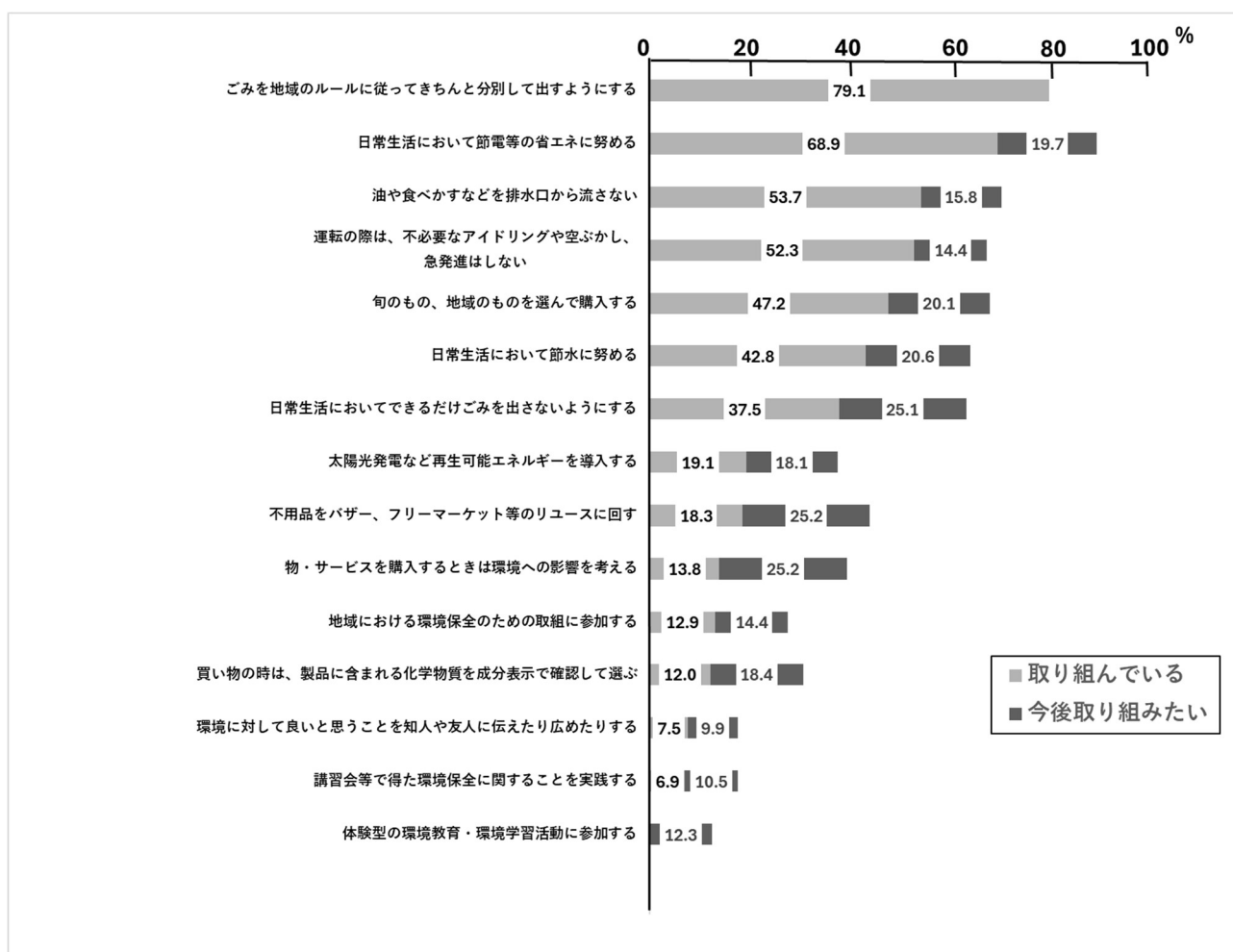


環境に配慮した取組について（問 10, 11）

「現在取り組んでいること」は、「ごみを地域のルールに従ってきちんと分別して出すようにする」が 79.1%と最も高く、次いで、「日常生活において節電等の省エネに努める」、「油や食べかすなどを排水口から流さない」であった。

また、「現在は取り組んでいないが、今後取り組みたいこと」は、「不用品をバザー、フリーマーケット、ガレージセール等のリユースに回す」、「物・サービスを購入するときは環境への影響を考える」が 25.2%と最も高く、次いで、「日常生活においてできるだけごみを出さないようにする」、「日常生活において節水に努める」であった。

取り組んでいることと今後取り組みたいこと

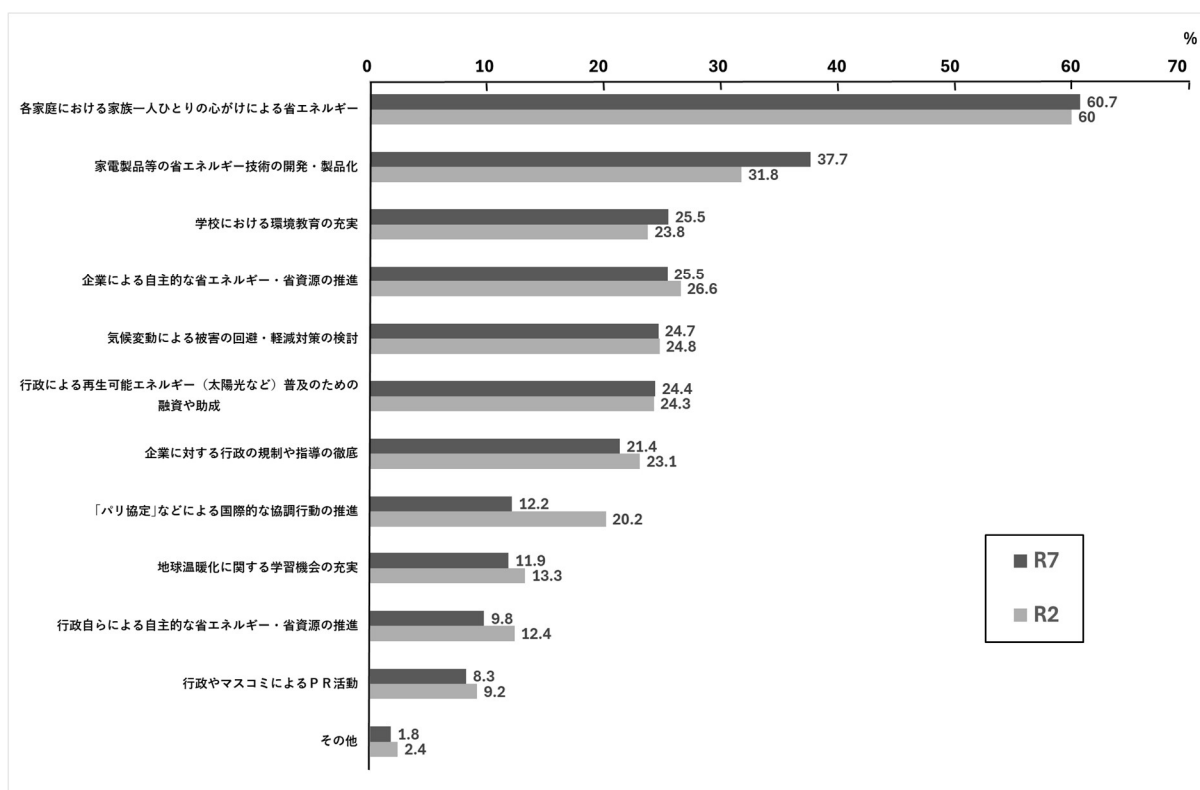


地球温暖化対策として重要な取組（問 13）

地球温暖化対策として重要な取組は、「各家庭における家族一人ひとりの心がけによる省エネルギー」が 60.7%と最も高くなった。次いで、「家電製品等の省エネルギー技術の開発・製品化」、「学校における環境技術の充実」、「企業による自主的な省エネルギー・省資源の推進」であった。

前回調査（R2）と同様に「各家庭における家族一人ひとりの心がけによる省エネルギー」が他の項目と比較して高い割合を示している。

地球温暖化対策として重要な取組



環境行政への要望（問 27）

今後重点的に推進すべき取組は、「地球温暖化による影響や被害を軽減するための取組（適応策）を進める」が 43.5%と最も高く、次いで「再生可能エネルギー、省エネルギーのための施設を整備する」が 41.3%、「資源を有効に活用するリサイクルのしくみをつくる」、「二酸化炭素の排出を抑制するなど、地球環境問題取組を進める」が 34.6%であった。

前回と同様に、「地球温暖化問題の取組」、「再生可能エネルギー、省エネルギー施設の整備」、「リサイクルの仕組みづくり」への要望が高い結果となった。

今後重点的に推進すべき取組

